

新しい gTLD プログラム

新しい gTLD プログラムの概要

1998年にインターネットアドレスシステムの調整を専門とする非営利、マルチステークホルダー組織として設立されて以降、インターネットのセキュリティおよび安定性を確保する一方で、ドメイン名市場における競争を促進することが ICANN の基本原理のひとつでした。現在 21 ある分野別トップレベルドメイン (gTLD) の拡張により、インターネットアドレスシステムに一層の革新、選択および変化がもたらされるでしょう。

新しい gTLD の導入は、グローバルインターネットコミュニティのすべての部会での長期にわたる詳細な協議プロセスの末に決定されました。これらの部会は、政府、個人、市民社会、事業および知的財産権部会、技術コミュニティなど、広範なステークホルダーを代表するものです。また、このポリシー策定作業には、ICANN の政府諮問委員会 (GAC)、At-Large 諮問委員会 (ALAC)、国コードドメイン名支持組織 (ccNSO) および、セキュリティと安定性に関する諮問委員会 (SSAC) も貢献しました。ポリシーは、分野別ドメイン名支持組織 (GNSO) によって 2007 年に策定され、2008 年に ICANN 理事会によって採択されました。プログラムは 2010 年に開始される予定です。

ICANN チームでは、申請者用ガイドブック (ドラフト)、抜粋および説明メモのリリースや、対面での説明を通じて、進行中のプログラム策定について、インターネットコミュニティと情報の共有を図っています。詳細はこのページに記載されています。

16 億人以上のインターネットユーザーが存在し、さらに増え続けている世界にあって、引き続き成功を収め、グローバルネットワークを実現するには、多様性、選択および競争が重要となります。

新しい gTLD の導入の流れ

- ICANN の設立前に .com、.edu、.gov、.int、.mil、.net、.org、.arpa の 8 つの gTLD が作成されました。
- ICANN では、新しい gTLD のために申請期間を 2 度に渡って設けました。2000 年 (.aero、.biz、.coop、.info、.museum、.name、.pro)、2004 年 (.asia、.cat、.jobs、.mobi、.tel、.travel)。
- 分野別ドメイン名支持組織 (GNSO) によって、新しい gTLD の導入について ICANN の指針となるポリシー勧告案が策定されました。このポリシー策定作業は 2005 年 12 月に開始され、2007 年 9 月に終了しました。
- 2008 年 6 月、ICANN のパリ会議において、インターネットアドレスシステムへの新しい gTLD の導入に関する GNSO 勧告が、ICANN 理事会によって承認されました。

あらまし

- Internet World Stats によると、世界のインターネットユーザーは推定 16 億人に上ります。
- インターネットアドレスは、ドットで区切られた一連の文字からなります。たとえば、www.icann.org という Web アドレスでは、「.org」がトップレベルドメイン、「icann」がセカンドレベルドメインです。サードレベルドメイン名が使用される場合もあります。
- 現在 21 の gTLD があります。一部の gTLD は、Web サイトを運営する組織の性質を識別するものです。たとえば、.com を含む Web サイトは、通常、営利組織を表しています：.museum は博物館・美術館、.mobi は携帯電話ユーザー、.aero は航空機産業専用となっています。
- 2 文字の国コード TLD (ccTLD) は約 250 あり、国または地域を識別します。たとえば、インターネット拡張子の .jp は日本、.eu は EU を表します。
- 2008 年末時点で、すべてのトップレベルドメイン (TLD) を通じたドメイン名登録の合計は 1 億 7700 万件でした。これは前年比 16% の増加、2008 年第 3 四半期比 2% の増加でした。1 億 7700 万件のセカンドレベルドメイン名登録の内、9600 万件は gTLD 登録でした。

ご存じですか？

- ICANN (The Internet Corporation for Assigned Names and Numbers) は、新しい分野別トップレベルドメイン (gTLD) の導入に責任を負っています。優先事項は、インターネットユーザーの代理として、gTLD を効果的に管理できる組織に対して、公正かつ透明なプロセスを通じて新しい gTLD を割り当てることです。
- ICANN では、新しいインターネット拡張子または gTLD の作成を促進するプログラムを開発しています。この新しいプロセスの下で新たな拡張子が作成され、インターネットのまったく新しい利方法という可能性が広がります。また、IDN (国際化ドメイン名) が初めてトップレベルドメインで使用可能になり、アラビア語、中国語、ギリシア語、ヒンディー語などの言語で新しい拡張子を使用できるようになります。世界中の数百万人の人々が、母国語でインターネット命名システムを使用できるようになります。
- インターネットの基本的プロトコル、TCP/IP は策定から 30 年、TCP/IP 上で運用される命名システム、DNS は策定から 25 年が経過しました。インターネットは、数台のネットワークコンピュータから 10 億人以上のユーザーがアクセスするネットワークへと成長し、欧米諸国にとどまらず、真にグローバルな現象となりました。また、調査のための基礎から、数兆ドルを生み出す商業の推進役へと発展しました。
- この期間を通じて、.com、.net、.uk などのトップレベルドメイン (TLD) 識別子の使用状況に大きな変化はありませんでした。最も広く知られている gTLD は、.com です。.com の誕生から 20 年以上が経過し、これらの TLD のスケールが当初と比較して劇的に変化した一方で、これらのトップレベルドメインの利用可能性および用途の変化は非常に小さなものに制限されてきました。
- gTLD の運用に責任を負う主体はレジストリと呼ばれます。gTLD の種類によって、これらの組織はレジストリ運用者またはスポンサーと呼ばれます。新しい gTLD レジストリは、ICANN との契約に署名し、技術要件に適合するとともに、適用されるポリシーを遵守しなくてはなりません。

gTLDとは？

gTLDとは、分野別トップレベルドメイン（generic top-level domain）の略語です。インターネットユーザーには、.com、.org、.infoなどのインターネット拡張子として認識され、インターネットドメイン名システムを構成しています。

新しいgTLDを導入する理由とは？

ICANN ポリシー策定プロセスに参加する広範なインターネット コミュニティで、新しい gTLD が提唱されました。1998 年の設立以来、ドメイン名市場において競争を促進することが、ICANN の重要な任務のひとつでした。

また、ICANNと米商務省の共同プロジェクト契約において、「ICANN は、TLD の管理に関する意志決定において、新しい TLD についての考慮および実装を含め、競争、消費者利益および、インターネット DNS の安定性およびセキュリティ問題について認識および考慮が確保されるプロセスを構築および維持するものとする」とされています。

既存の 21 の gTLD への制限を廃し、トップ レベル空間を解放して新しい名前の提案を可能にすることで、新しい革新の波が誘発されるでしょう。安定的で開かれたプラットフォームが提供され、参入障壁が低い環境でこそ、競争と革新が最も活発化します。

これによりインターネットの運営が変化しますか？

計画されている gTLD の追加は、インターネットの運営方法には影響しませんが、ユーザーがインターネット上で情報を発見する方法が変化する可能性はあります。

商標所有者の保護のために ICANN が行っていることは？

第一に、異議申し立てに基づくプロセスにより、権利者は、提案されている gTLD がその法的権利を侵害することを示すことができます。第二に、新しい gTLD の申請者には、申請に当たって、セカンドレベルの登録に対して提示する権利保護メカニズムについて説明し、それを公表することが求められます。第三に、すべての新しい gTLD では、セカンドレベルの登録において ICANN の統一ドメイン名紛争処理ポリシー（UDRP）を遵守することが求められます。UDRP は、多年に渡り権利保護プロセスとして有効に機能してきました。最後に、ICANN では、商標関連のコミュニティと密接に協力し、新しい gTLD の実装において商標所有者が直面する潜在的な問題に対する追加的なソリューションを模索してきました。

ICANN は、不適切または人種差別的な拡張子の登録を防止しますか？

有害な名前については、公序良俗に基づいた異議プロセスの判定を受けることになります。このプロセスは数多くの国際条約条項に照らし合わせながら、国際調停機関により行われます。

IDN と gTLD の関係とは？

IDN は、国際化ドメイン名（Internationalized Domain Name）の略語です。IDN では、ドメイン名に英数字および「-」以外の文字を使用することができます。

このようなドメイン名には、多くの欧州言語で使用される発音区別符号付きの文字や、アラビア語や中国語など、非ラテン文字を使用することができます。2010 年の申請期間中には、インターネットの歴史上初めて IDN gTLD の使用が開始されます。IDN トップレベルドメイン名の導入により、世界中の多くのインターネット ユーザーが母国語および文字で表記されたトップ レベルドメインを確立および使用可能となり、新しい機会とメリットが得られるでしょう。

新しいgTLDはいくつ追加されますか？

2010 年の申請期間中に ICANN に寄せられる申請件数や、申請のどの程度が認定され gTLD レジストリとなるかについては、正確に予想することはできません。市場の推測では、数百から数千の申請が見込まれています。

新しいgTLDの申請は、ドメイン名を購入することと同じですか？

いいえ、違います。現在、世界中の組織および個人がセカンド レベルまたは、場合によっては、サードレベルのドメイン名を購入することができます。必要なことは、認定レジストラまたは再販業者を見つけて、レジストラの契約条項を遵守し、年払い料金を支払うことだけです。新しい gTLD の申請は、より複雑なプロセスです。新しい gTLD の申請者は、実際には、レジストリ業務の設立および運営について申請を行い、ICANN との間で契約を締結します。

次の申請期間に先立って、新しいgTLDについてのアイデアをICANNに登録することができますか？

いいえ。ICANN では、新しい gTLD の予約または事前登録は受け付けておりません。

gTLDを予約しておき、後で使用するかどうか決定することができますか？

ICANN がトップ レベル空間を解放する理由のひとつは、市場での競争および革新を可能にすることです。申請プロセスにおいて、申請者には、提案する gTLD の作成および運用について詳細な計画の提出が求められます。ICANN では、レジストリ契約の締結後、速やかに新しい gTLD の運用が開始されることを想定しています。

申請されたTLDおよびその申請者は、いつ、どのようにして確認することができますか？

申請期間の終了後、ICANN では、すべての申請が完全であるかどうかを審査し、ICANN の Web サイトに TLD、申請者名および申請者に関する公開情報のリストを発表します。

新しいgTLDを申請する機会は今回だけですか？

いいえ。ICANN では、今後も追加的な申請期間を設ける予定です。今後の申請期間の正確な日程は未定です。今回認定されなかった申請者も、今後の申請期間に再申請することができます。

申請プロセス

新しいgTLDの申請資格とは？

世界中のあらゆる公的または民間組織が、新しい gTLD の作成および運用を申請することができます。申請者には、レジストリを運営するための運営、技術および財務面の能力を示すとともに、追加的な特定の要件を遵守することが求められます。

新しいgTLDの申請者用ガイドブックとは？

申請者用ガイドブックでは、新しい gTLD の申請者が、申請および評価期間中に想定されること、および、プロセスの進行について理解できるように、逐次的に説明されています。2008 年の下期に申請者用ガイドブックのドラフトがリリースされ、コメントを募集中です。これは、ICANN のボトムアップ意志決定モデルの一環であり、インターネット コミュニティが最終的な基準およびプロセスの決定に参加するための大きな機会を提供するものです。申請者用ガイドブックの最終版は 2010 年にリリースされ、最終的な規則および要件が記載されます。

ICANN が申請者に多くの情報の提出を求めるのはなぜですか？

ICANN の中核的使命のひとつは、インターネットのセキュリティ、安定性およびグローバルな相互運用性を確保することです。新しい gTLD のレジストリとなる申請者には、ICANN との契約を遵守し、すべてのベスト プラクティスおよび基準に従って、この使命を確実に達成することが期待されます。

複数のgTLDを申請することができますか？

はい。ただし、申請は 1 件ごとに個別に処理され、申請料金の割引はありません。

申請可能なgTLDの種類に制限はありますか？

ICANN では、gTLD 文字列について特定の規則を定めており、申請者は留意する必要があります。たとえば、数字のみで構成される gTLD の申請は拒否されます。IDN gTLD の申請者は、申請者用ガイドブックに記載されている追加の技術的仕様にも従う必要があります。

コミュニティ ベースの TLD または地理的 TLD を代表する申請者は、追加の技術的仕様を満たす必要があります。

申請期間中にはどのような手順が行われ、どのくらいの時間がかかりますか？

申請期間は、数週間となる見込みです。申請者は、TAS (TLD 申請システム) と呼ばれる専用のインターフェースを使用し、申請する TLD に関する質問および、レジストリを運営するための業務および技術面の能力に関する質問に回答します。申請者は、このインターフェースを使用して、補足資料をアップロードすることができます。また、ICANN スタッフ、申請者および、評価または異議申し立てプロセスを支援する様々なサービス プロバイダによるワークフロー管理ツールとしても使用されます。

複数の申請者が同じgTLDを申請した場合はどうなりますか？

ICANN では、複数の同一 gTLD を許可していません。複数の申請者が同じ gTLD を申請した場合、申請者には、申請者用ガイドブックに記載されている文字列の競争に関する手順に従うことが求められます。また、申請者は、専門家のパネルによって複数の gTLD 文字列が非常に類似していると判断された場合、同様の特別な規則が適用されることに留意する必要があります。同一または類似する gTLD 申請の取り扱いとして ICANN が推奨する 2 つの手順は、オークションおよびコミュニティ優先順位 (比較) 評価です。後者は、コミュニティ ベースの申請者がいる場合のみ該当します。

所有するブランドまたは商標を表す gTLD が他者によって申請された場合どうすればよいですか？

ICANN では、法的権利の侵害を受けたと申し立てた第三者からの異議を取り扱う紛争解決サービスプロバイダ (DRSP) によって管理される紛争解決メカニズムを導入します。

新しいgTLDの取得を第三者が防止することはできますか？

すべての gTLD 申請が ICANN の Web サイトで公開された後、異議申し立て期間を経て、確立された紛争解決手順が実行されます。異議の申し立ては、4 つの列挙された根拠に基づいてのみ行うことができます。異議申し立ての有資格者、異議の申し立て先および申し立て方法、申し立て費用など、これらの手順の詳細については、申請者用ガイドブックを参照してください。

タイムラインおよび料金

いつ申請できますか？

申請期間は 2010 年中に設けられる予定です。申請期間には、特定の開始および終了日時が設定されます。

申請料金はいくらですか？

申請料金は 185,000 米ドルとなる見込みです。また、TAS へのアクセスには 100 米ドルの登録料金が必要です。すべての申請者は、同額の初期申請およびユーザー登録料金の支払いを求められます。さまざまな支払い方法を利用できます。異議申し立てまたはオークションプロセスなど、申請ごとに経過が異なる可能性があるため、申請者によっては追加料金が適用される場合があります。

ICANN では返金を受け付けますか？

はい、特定の状況では返金を行います。返金の条件については、申請者用ガイドブックに定められています。

ICANN によるgTLDの承認後継続的にかかる料金はありますか？

はい。申請がすべての評価手順を通過した後、申請者は ICANN とのレジストリ契約を締結しなくてはなりません。この契約の下で、四半期ごとに 6,250 米ドルの固定手数料および、その後のドメイン登録および更新ごとに発生する取引手数料 0.20 米ドルの 2 種類の手数料がかかります。

この文書に記載されている申請および評価プロセスに関する情報は、現時点で最新のものです。しかし、これは簡略な要旨であり、変更される場合があります。プログラムの詳細については、実際の申請者用ガイドブックを参照してください。また、改訂中の提案されているレジストリ契約も併せて参照してください。新しい gTLD プログラムの詳細については、www.icann.org を参照するか ICANN スタッフまで電子メール (newgld@icann.org) でお問い合わせください。

詳細はどこで確認できますか？

新しい gTLD プログラムの最新情報については、<http://www.icann.org/en/topics/new-gtld-program.htm>

GNSO ポリシー策定については、<http://gns0.icann.org/>

IDN については、<http://www.icann.org/en/topics/idn/>

最新の gTLD の完全なリストは下記から入手できます。
<http://www.icann.org/registries/listing.html>

用語集と役に立つ用語

申請者 — オンライン申請システムを使用して申込書を送信し、ICANN に新しいgTLDの申請を行ったエンティティ（主体）。

申請 — 新しいgTLDの申請。申請には、記入済みの申込書、補足資料および、ICANNからの請求に応じて申請者が送信するその他のあらゆる情報が含まれます。

申請者用ガイドブック — 新しいgTLDの申請者が、申請および評価期間中に想定されること、および、プロセスの進行について理解できるように、逐次的に説明されています。

オークション — 最高額の入札者に財産権または財を割り当てる方法。

コミュニティ優先順位（比較）評価 — 文字列の競合を解決するためのプロセス。コミュニティベースの申請者が選択可能です。

コミュニティベースのTLD — コミュニティベースのgTLDとは、人数が限定された確定したコミュニティの利益のために運用されるものです。コミュニティベース指定の申請を行う申請者は、申請の名義人となるコミュニティを代表する地位にあることを証明することができなくてはなりません。

TCP/IP — Transmission Control Protocol/Internet Protocol — インターネットの基本的な通信言語またはプロトコル。インターネットの基盤となる通信プロトコルであるIPを使用すると、地理的に分散した大規模なコンピュータネットワーク間でさまざまな物理リンクを使用して、すばやく低コストの相互通信を実現できます。IPアドレスは、インターネット上の場所を識別する数値アドレスです。インターネットのコンピュータはIPアドレスを使用してトラフィックを転送し、コンピュータ間の接続を確立します。ユーザーはドメイン名システムを使用して、わかりやすく覚えやすい名前を使用するのが一般的です。

異義 — 紛争解決サービスプロバイダの定める手順に従って申し立てられた正式な異義。

DNS — ドメイン名システム — ユーザーがインターネットで自分の居場所を認識する際に役立ちます。インターネット上のコンピュータはすべて、電話番号のような複雑な数字の文字列で構成される一意のアドレスを持っています。これをそのコンピュータのIPアドレスと呼びます。IPアドレスは覚えにくい数字の羅列です。DNSでは、難解なIPアドレスではなく、わかりやすい文字列（「ドメイン名」）を使用してインターネットを使いやすくします。そのため、「207.151.159.3」と入力する代わりに「www.internic.net」と入力することができます。これは、アドレスを覚えやすくするための「記憶」手段です。

DRSP — 紛争解決サービスプロバイダ — ICANNとの契約に基づき、紛争解決手続きにおいて正式に申し立てられた異義に対して裁定を下すエンティティ。

TAS — TLD申請システム — ICANNへの申請を送信するためのオンラインインターフェース。

レジストリ — 各トップレベルドメインに登録されているすべてのドメイン名を網羅した権威あるマスタデータベース。レジストリ運用者はマスタデータベースを管理するだけでなく、コンピュータと世界中のすべてのトップレベルドメイン間でインターネットトラフィックを転送できるようにするゾーンファイルも生成します。

レジストリ契約 — ICANNと適格なgTLD申請者の間で締結される契約、ドラフトは <http://www.icann.org/en/topics/new-gtlds/> に掲載されています。

レジストラ — 現在、gTLD内のドメイン名はレジストラを通じて登録されます。レジストラは、ドメイン名登録を構成するさまざまな連絡先情報および技術情報を提供し、連絡先情報の記録を保管し、「レジストリ」と呼ばれる集中管理ディレクトリに技術情報を送信します。レジストラは、レジストラとの間で、登録を受け付け、保持する条件を定めた登録契約を締結しなくてはなりません。

TLD — トップレベルドメインはDNS命名階層の最上位に位置する名前です。TLDはドメイン名で「www.example.net」の「net」のように、最後（右端）の「ドット（.）」に続く文字列として表示されま

す。TLD管理者は、そのTLDで認識される2番目のレベルの名前を制御します。ルートドメインまたはルートゾーンの管理者は、DNSによって認識されるTLDを制御します。よく使用されるTLDには、.com、.net、.edu、.jp、.neなどがあります。

GAC — 政府諮問委員会 — 各国政府、複数国家政府機関、条約機構、および異なる経済圏から任命された代表によって構成される諮問委員会です。この委員会は、ICANN理事会に、政府の懸念事項を助言します。

ALAC — At-Large 諮問委員会 — 個人インターネットユーザーの利害に関連したICANNの活動について検討し、助言します。

ccNSO — 国コードドメイン名支援組織 — 国コードトップレベルドメイン（ccTLD）関連活動に取り組み、リーダーシップを発揮します。この目的は、ICANN理事会へのポリシー推奨事項を作成すること、ccTLDの名前関連活動を含めてccNSOのコミュニティ全体の同意を培うこと、および、他のICANN SO、委員会、ICANN部会との調整を図ることによって達成されます。

SSAC — セキュリティと安定性に関する諮問委員会 — インターネットの命名およびアドレス割り当てシステムのセキュリティと安定性について審議する常任委員会。この委員会の綱領は、リスク分析と監査に重点を置いています。SSACは、約20名の業界および学会の技術専門家、およびインターネットルートサーバーの運用者、レジストラ、およびTLDレジストリで構成されています。

GNSO — 分野別ドメイン名支持組織 — 商用および事業用部会、gTLDレジストリ部会、ISP部会、非営利部会、レジストラ部会、およびIP部会の6つの部会で構成される、ICANNの支持組織のひとつ。

ISP — インターネットサービスプロバイダー — ISPは、組織や個人にインターネットアクセスを提供します。ISPによって提供されるサービスには、Webホスティング、電子メール、VoIP（ボイスオーバーIP）、およびその他多くのアプリケーションのサポートがあります。

文字列 — 申請されるgTLDを構成する一連の文字。

文字列の競合 — 複数の適格な申請者が同一のgTLDまたは非常に類似したgTLDを申請し、そのような複数のgTLDをルートゾーンに委任するとユーザーの混乱を招くおそれがある状況。

文字 — 言語を表記するために使用される記号の集合。基本的な文字の種類は3つあります。アルファベット（アラビア文字、キリル文字、ラテン文字）は、文字と呼ばれる個別の要素からなります。表意文字（中国語）は、表意的な文字からなります。音節文字（ハングル）は、音節を表す要素からなります。多くの言語の表記法では、1種類の文字のみを使用しますが、例外もあります。たとえば、日本語では、3つのカテゴリすべてを代表する4種類の文字が使用されます。Unicodeコードチャートに表示されない文字は、IDNに使用することはできません。

ICANNについて

インターネット上の別のユーザーにたどり着くには、コンピュータにアドレス、つまり名前または番号を入力する必要があります。コンピュータが互いに相手の場所を認識するには、アドレスが一意でなくてはなりません。ICANNでは、このような全世界で一意な識別子の調整を行っています。この調整なしに、単一のグローバルなインターネットは成立しません。ICANNは1998年に設立されました。インターネットのセキュリティ、安定性および相互運用性を保持するために、世界中から参加者が集まった非営利公益法人です。競争を促進し、インターネットの一意な識別子に関するポリシーを策定しています。ICANNでは、インターネットのコンテンツは管理していません。スパムをなくすることはできず、インターネットアクセスも提供していません。しかし、インターネット命名システムの調整という役割を通じて、インターネットの拡張および進化に重要な影響を及ぼしています。詳細については、www.icann.org を参照してください。



ブリュッセル	6 Rond Point Schuman, Bt. 5	B-1040 Brussels	Belgium	T +32 2 234 7870	F +32 2 234 7848
ロサンゼルス	4676 Admiralty Way, Suite 330	Los Angeles, CA 90292	USA	T +1 310 823 9358	F +1 310 823 8649
ワシントン	1875 I Street NW, 5th Floor	Washington, DC 20006	USA	T +1 202 429 2407	F +1 202 429 2714
シドニー	Level 2, 48 Hunter Street	Sydney NSW 2000	Australia	T +61 2 8236 7900	F +61 2 8236 7913